



第68回 東日本実業団 陸上競技選手権大会

山形県天童市において東日本実業団陸上競技選手権大会が3日間の日程で開催され、日立からは5名の選手とコーチ1名が出場しました。

3日間ともに夏日の暑さと強風が吹く難しい気象条件の中でしたが、選手たちは全力で挑みました。

初日の10000mでは鈴木千晴選手と鈴木樺連選手が良い位置取りでレースを進め、調子を上げてきている鈴木樺連選手が自身の記録を大幅に上回る好走を見せました。

昨年度は体調不良等で駅伝を含め3レースしか出場できなかった鈴木千晴選手ですが、まずはレースへ出場できる状態に戻ってきてくれました。2日目の3000m2組目に出場した中川選手は、昨年のプリンセス駅伝での故障から走れる身体に戻している段階で、本来の走りにはまだまだ遠く、本人も悔しい気持ちでいっぱいですが、ここからどこまで上げていけるかを楽しみにして下さい。

3000m1組目に出場した今年度新人の渡辺選手。4月の新人研修が終わってから体力を戻している中、ここからは伸び代しかない状態。今週末にもう1本レースへ出場し、6月の日本選手権大会をめざします。

3日目、昨年の自己新記録連発から駅伝メンバー入りと着実に成長を重ねている矢内選手が5000mに出場しました。

ここ最近の練習でうまく走れない状態で、そのままレースに出場してしまいました。大きくジャンプアップするための必要な停滞期間です。またコツコツと積み上げていきます。

初日の男子1500mと3日目の男子5000mに出場した川澄コーチ。1500mでは果敢に先頭についていき、他チームの多くの現役選手たちを退けて見事3位に入賞しました。5000mではエントリー記録が遅かったことで遅い組に入ってしまったのですが、スタートからゴールまで一度も先頭を譲ることなく組のトップでゴール。選手たちの気持ちを鼓舞する走りを見せてくれました。



鈴木 樺連 選手

女子10000m決勝

総合14位/24名

自己新記録!

33分45秒49



約7年ぶり、実業団に入って初の10000mを走らせていただきました。

今回は秋の駅伝に向けて距離が長い区間にも対応できるようにと、距離に対する壁をなくすという目的を持ってレースに臨みました。

距離に対する不安は若干ありましたが、落ち着いてレースを進められ、自己ベストも更新することができて嬉しく思います。

山形県開催ということもあり実家の岩手県から家族が応援に来てくれて、久しぶりに元気に走る姿を見てもらったので良かったです。これからも恩返しをしたいと思っています。

ここから次のレースまでは少し期間が開くので、しっかり走り込んで7月のホクレンディスタンスで自己ベスト更新をめざして練習していきます。

応援ありがとうございました。



鈴木 千晴 選手

女子10000m決勝
総合18位/24名

34分22秒95



冬季期間は体調の面で皆様大変ご心配をおかけしました。身体の方は無事に回復し、今回は半年ぶりの復帰レースとなりましたが、結果としては厳しい走りとなりました。まだ思うような走りには程遠い状態ですがスタートラインに立つことで現状確認と共に今後の課題を得ることができました。実業団15年目を迎えた今、改めて今までの練習方式を見直し、新しい取り組みにチャレンジしている最中ですが、今年度の自身のテーマである「主体性を持ち、突き詰めることを楽しむ」を大事にして前へ進んでいきます。慣れない練習ではトライアンドエラーの日々ですが、新たな発見もあるので、まだまだ突き詰めることを楽しみながら挑戦していきたいと思います。応援ありがとうございました！



渡辺 愛来 選手

女子3000m
1組13位/15名 (総合28位/30名)

10分19秒89



初めての実業団選手としての公式戦ということもあり、レース前から楽しみな気持ちを胸に練習に取り組んできました。しかし本番では練習で積み重ねてきたことを全く出し切ることができず、自分の弱さが全面的に出たレースとなってしまいました。今回の結果をしっかりと受け止めて反省点と向き合い、同じ失敗を二度と繰り返さないために、また一から作り上げていきます。「応援したい」と思っていただけの選手になることをモットーにしているので、気持ちを切り替え、来週のレースに向けて、前向きに取り組んでいきます。3日間、日立女子陸上部へのたくさんの応援、本当にありがとうございました。引き続き、よろしくお願致します。



中川 千愛 選手

女子3000m
2組14位/15名 (総合20位/30名)

9分56秒66



今日のレースは酷すぎて言葉にも表せないです。今は気持的に全く整理がつかない状況ですが、切り替えていかなければ前に進めないの、やるべきことをやっていきます。結果を求められる世界なのに全く走れない、自分の力を発揮できないことについては、自分の中ではっきりとした原因があるので、しっかりと受け止めて次に向かって取り組んでいきます。応援ありがとうございました。





矢内 楓恋 選手

女子5000m
1組20位/23名 (総合41位/44名)
17分07秒87

前回のレースを踏まえて、今回のレースでは状態を戻すことを一番の目的として走りました。
1000m までは動きに余裕がありましたが、それ以降は動きがうまくハマらず、呼吸もきつくなり、ズルズルと落ちてしまいました。
最近練習の中でもなかなか動きがハマらずに良い練習をすることができていませんが、今回の大会で一旦レースが落ち着くので、7月のホクレン大会までの約1ヵ月半で動きを戻し、タイムを更新できるように頑張っていきたいと思います。
暑い中、現地での応援やライブ配信でもたくさんのありがとうございました。次は良い走りを見ていただけるように頑張ります！



川澄 克弥 コーチ

男子1500m
総合3位入賞!

男子1500m
2組3位/17名 (総合3位/31名) 3分43秒49
男子5000m
1組1位/19名 (総合52位/87名) 14分37秒59

応援ありがとうございました!

